

資料番号	3
------	---

令和4年12月15日
課名 総務局 研究開発課
担当者 総括官(研究開発)(兼)研究開発課長 今井
内線 2404
課名 農林水産局 農業技術課
担当者 課長 出原
内線 3556

令和4年度 県立総合技術研究所 農業技術センター 「研究成果発表会」の開催について

1 要旨・目的

県立総合技術研究所 農業技術センターにおいて、研究成果を生産者や関係事業者等に広く紹介し、センターと開発技術の利活用の促進を図る。

2 現状・背景

果樹園芸研究に関する技術開発が進み、レモン栽培技術や新品種開発などの生産者等への移転段階にある研究成果が蓄積されていることから、効果的な移転活動を進める必要がある。

3 概要

(1) 実施主体

県立総合技術研究所 農業技術センター

(2) 実施期間(日時)

令和5年2月14日(火) 13:00~15:30

(3) 場所

東広島市安芸津生涯学習センターホール(東広島市安芸津町三津 4398)

※ Zoomによりオンラインでも同時開催し、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、オンラインのみでの開催とする。

(4) 実施内容

テーマ:「将来の広島県の果樹産業を支える新技術」

内容:

ア 講演 改正種苗法について ~法改正の概要と留意点~
(農林水産省輸出・国際局知的財産課 種苗室担当者)

イ 研究成果の発表

- ・足場管を利用したレモンハウスの建設
- ・カンキツ新品種「瑞季」の栽培特性と高品質安定生産に向けた開発技術
- ・イチジク株枯病抵抗性台木新品種「励広台1号」を活用した新たな栽培方策

4 その他

研究成果発表会に関する情報は、農業技術センターのホームページに掲載し、併せて他の研究成果も紹介する予定。

農業技術センターホームページ <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/>



令和4年度 県立総合技術研究所

農業技術センター 研究成果発表会

参加費 無料

要事前申込

どなたでも参加可

1 日 時 令和5年2月14日(火) 13:00~15:30

2 場 所 東広島市安芸津生涯学習センターホール
(東広島市安芸津町三津 4398, TEL: 0846-45-2334)

※ 会場定員 90 名。Zoom によるオンラインでも同時開催し、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、オンラインのみでの開催とする

3 テーマ 「将来の広島県の果樹産業を支える新技術」

4 内 容

(1) 講 演

演題	要旨	発表者	時間
改正種苗法について ～法改正の概要と留意点～	令和3年から施行された改正種苗法について、登録品種の増殖や種苗の海外流出防止など、法改正の概要と留意点について紹介します。	農林水産省輸出・国際局知的財産課 種苗室担当者	13:05 ～ 13:50

(2) 研究成果の発表

演題	要旨	発表者	時間
1) 足場管を利用したレモンハウスの建設	環境制御技術を用いたハウスレモンの栽培に有用な高軒足場管ハウス※の建設について、その技術の概要を紹介します。	果樹研究部 研究員 大賀 健人	13:50 ～ 14:20
2) カンキツ新品種「瑞季」の栽培特性と高品質安定生産に向けた開発技術	カンキツ新品種「瑞季」の栽培特性を紹介するとともに、高品質で安定的に生産できる技術開発と、これまでのPR活動の状況を紹介します。	果樹研究部 副部長 柳本 裕子	14:30 ～ 15:00
3) イチジク株枯病抵抗性台木新品種「励広台1号」を活用した新たな栽培方策	イチジク栽培で問題となっている株枯病について、抵抗性の台木新品種「励広台1号」の特性と、それを活用した栽培方策について紹介します。	果樹研究部 総括研究員 軸丸 祥大	15:00 ～ 15:30

※ 足場管ハウス…工事現場の足場を組む際に用いられるパイプを使用した高軒の低コストハウス。高温を回避できる。

成果発表会の詳細、申込方法等は、農業技術センターのホームページで公開予定です。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/>

問い合わせ先 082-429-0522

広島県 農業技術センター

検索